第 196 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録

1. 日時　2010 年 3 月 2 日(火)　10:00～12:00

2. 場所　電気学会本部 第一会議室 (千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階)

3. 出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

穂積委員長(愛工大)	○	岡下委員(昭和電線)	×	岡本委員(富士電機)	×
小林委員(日立製作所)	○	清水委員(東芝)	×	高橋委員(ビスキャス)	○
中坊委員(日新電機)	×	菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×
本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×	渡辺委員(日立電線)	×
岩本委員(東工大)	×	江原委員(東京都市大)	×	加藤委員(新潟大)	×
池田委員(新日本石油精製)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	○
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○		

4. 提出資料

番号なし	第 195 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-196-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-196-2	第 83 回 A 部門研究調査運営委員会 代理出席報告
DEI-196-3	電気学会公開シンポジウム「電気の不思議を体感しよう」
DEI-196-4	第 6 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録
DEI-196-5	調査専門委員会フォローシート (2009 年度)
DEI-195-6	平成 21 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定
DEI-196-7	平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定 (0 次案)
DEI-196-8	有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する調査専門委員会 解散報告書，電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術調査専門委員会 解散報告書，先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術調査専門委員会 設置趣意書，屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 設置趣意書
DEI-196-9	電気学会 A 部門誌 特集号の論文募集 会告 (案)
DEI-196-10	シンポジム・ISEIM の開催と論文誌 A 特集号の発刊について
DEI-196-11	第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジム開催提案書 (第 1 次案)
DEI-196-12	ISEIM2011 日程等原案 (メモ)
DEI-196-13	2011 年 ISEIM および CIGRE コロキアム 開催予定 (案)

５. 議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 195 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-196-1 に基づき、委員の所属等についての確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

5-3. 第 83 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会（高橋幹事補佐）

資料 DEI-196-2 に基づき、代理出席した高橋幹事補佐から、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会の議事内容が報告された。当技術委員会に関係深い議事内容は下記のとおりである。

- 長尾先生の DEI 技術委員会副委員長就任が確認された。
- 技術委員会の発展的な統廃合が検討されており、これに伴う諸問題が運営委員会で議論されている。
- A 部門が担当する公開シンポジウムの準備が進められている(開催日：2010 年 4 月 2 日)。
- 技術報告書原稿未提出は、「高電界電気絶縁における電荷挙動と界面」,「屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能」,「高分子材料と放射線の相互作用評価技術」の３件。

5-4. 電気学会公開シンポジウム「電気の不思議を体感しよう」

資料 DEI-196-3 に基づき、平成 22 年度「電気学会主催 公開シンポジウム」について紹介された。会場周辺の教育委員会に応募付きチラシを配布済みである。

5-5. 第 6 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録の報告（池田委員）

DEI-196-4 に基づき、第 6 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録が報告された。第 7 回委員会は、2010 年 2 月 12 日に開催予定である。

5-6. 調査専門委員会フォロー（田中幹事）

資料 DEI-196-5 に基づき、調査専門委員会活動の更新と確認を行った。

- 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面調査専門委員会の技術報告書未提出については、対策を行う必要がある。
- 放電技術委員会との共同運営となっている繰り返しインパルスにおける部分放電計測調査専門委員会のフォローは、一時見合せる。

5-7. 平成 21 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（田中幹事）

資料 DEI-196-6 に基づき、平成 21 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の更新及び確認を行った。

5-8. 平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)（田中幹事）

資料 DEI-196-7 に基づき、平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の 0 次案が報告された。2010 年４月から新規設置される「屋外用ポリマー絶縁材料屋外絶縁」及び「先端複合ポリマーナノコンポジット」で研究会を開催してほしい。

5-9. 調査専門委員会の解散と設置

資料 DEI-196-8 に基づき、下記調査専門員会の解散、或いは設置が報告された。いずれの調査専門委員会も、2010 年 2 月 18 日に開催された第 83 回 基礎･材料･共通部門 研究調査運営委員会で解散、或いは設置が承認されている。

- 有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する調査専門委員会 解散報告書
- 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術調査専門委員会 解散報告書
- 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術調査専門委員会 設置趣意書
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術調査専門委員会 設置趣意書

5-10. 電気学会 A 部門誌 特集号の論文募集

資料 DEI-196-9 に基づき、A 部門誌「電気電子絶縁材料システムシンポジウム」特集号についての企画が紹介された。

- 前回の電気電子絶縁材料システムシンポジウムの発表から、候補を選定し依頼する。
- シンポジムでの口頭発表論文(予稿 4 頁)については論文への投稿を、ポスター発表論文(予稿 2 頁)については MVP 受賞者を中心にレターへの投稿を依頼する。
- 3 月中に、候補者を選定し、メールでの審議後、候補者に依頼する。

5-11. シンポジム・ISEIM の開催と論文誌 A 特集号の発刊について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-196-10 に基づき、シンポジム・ISEIM での予稿論文を A 部門誌特集号への推薦に繋げるため、シンポジム・ISEIM の座長に依頼する作業内容、学会終了後の組織委員会、或いはプログラム委員長の作業についての提案があった。

5-12. 第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジム開催提案書（高橋幹事補佐）

資料 DEI-196-11 に基づき、第 41 回電気電子絶縁材料システムシンポジム開催提案書(一次案)が、報告された。会場は、秋田市民交流プラザ(秋田アルベ)とし、確保済みである。

5-13. ISEIM2010 と CIGRE コロキアムの開催について（穂積委員長）

資料 DEI-196-12 及び 13 に基づき、ISEIM2010 と CIGRE コロキアムの併設開催についての審議を行い、開催が承認された。会場は、同志社大学とする。

６．次回委員会

次期委員長の長尾先生の予定を確認した後、日程を決定する。決まり次第、委員に案内を送付する。

以上